

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成31年 1月 4日 更新

事務事業名	たばこ税課税事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	市民生活部	課長名 米澤 伸仁
	施策	3 財政の健全化	所属課	税務課	担当者名 猿渡 祥子
	施策の柱	14 自主財源の確保	所属班	市税班	(内線) 1124
予算科目	会計一般	款 2 項 2 目 2	事業連番	11126	根拠法令
	地方税法・市税条例等				成果優先度評価結果 : ④ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市たばこ税を適正に課税する事務。昭和25年に地方税法が制定され課税が始まった。</li> <li>・納税は、納税義務者(たばこ製造者・輸入業者・卸売販売業者)が自ら税額を計算し、申告額を納税する「申告納付」で行われている。※たばこの小売価格の中に市たばこ税が含まれており、実際にはたばこを買う人が負担している。</li> <li>・高齢化の進展、健康意識の高まり、喫煙規制の強化、増税・値上げ等により喫煙者率が減少傾向にある。</li> <li>・旧3級品の税率が平成28年度から平成31年度にかけて段階的に引き上げられ、それに伴い手持品課税が開始された。</li> <li>・平成29年税制改正では、加熱式たばこの課税強化(平成30年度～平成34年度)及び紙巻たばこの税率の引き上げ(平成30年度～平成33年度)が決定している。</li> </ul>
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月 ①納税義務者からの市たばこ税申告書の收受・審査(内容確認)・納付額の調定 ②県から送られてくる販売本数明細書との突合</li> <li>・随時 手持品課税納税申告書(税務署が收受し、市へ回付)の審査(内容確認)・納付額の調定</li> </ul>
【主な予算費目】	事業費なし(人件費のみ)
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	市たばこ税申告書の收受・審査・調定、手持品課税納税申告書の審査・調定	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由 → ア: 申告書收受件数 イ: 予算なし
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市たばこ税納税義務者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 → ア: 納税義務者数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市たばこ税の適正な賦課及び調定を行う(適正な申告納付)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 → ア: 申告書收受件数 イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 申告者は、たばこ製造者・輸入業者・卸売販売業者であるため、前年度実績を目標値として設定した。		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込	
① 活動指標	ア 件	イ	38	30	30	29	29	29	29	29	
② 対象指標	ア 人	イ	4	5	5	4	4	4	4	4	
③ 成果指標	ア 件	イ	38	30	30	29	29	29	29	29	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち時間外、特勤		千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	45	45	70	55	70	70	70	70	
	(B) 人件費計	千円	167	0	278	217	278	278	278	278	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	167	0	278	217	278	278	278	278	

事務事業名	たばこ税課税事務	所属部	市民生活部	所属課	税務課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 納税義務者が製造たばこを小売販売業者に売り渡す回数が減となったため。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 納税義務者からの申告であるため、変動は無いと思われる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 納税義務者による「申告納付」のため、成果の向上余地がない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地方税法及び市税条例等の規定に基づく事務であり、類似事業はなく他に手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を計上していない。(該当しない)
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市たばこ税は申告納付であるため、最小限の人員で事務を行っており、業務時間の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地方税法及び市税条例等の規定に基づく事務であり、受益機会・費用負担は公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地方税法の規定に基づく市の固有事務である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

今後は、喫煙人口の減少に伴う市たばこ税の減収が予想される。予算編成に影響が生じることも考えられる。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						